# **JSPS Information**

- ◇日本惑星科学会第116回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第46回総会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

# ◇日本惑星科学会第116回運営委員会議事録

時:2016年9月12日(月) 18:40-20:40

場 所:ノートルダム清心女子大学 ヨゼフホールB2203

### 運営委員:

 $\mathbb{H}$ 

出席者 14名

倉本 圭, 渡邊 誠一郎, 荒川 政彦, 中村 昭子, 千秋 博紀, 中本 泰史, 平田 成, 林 祥介, 春山 純一, 竹広 真一, 諸田 智克, はしもと じょーじ, 小久保 英一郎, 生駒 大洋

欠席者 8名

田近 英一, 並木 則行, 井田 茂, 和田 浩二, 永原 裕子, 橘 省吾, 荒井 朋子, 佐々木 晶

(委任状:議長7通,諸田委員1通)

#### オブザーバー:

佐伯 和人(2017年秋季講演会実行委員)

城野 信一(行事部会長)

### 議 題:

### 1. 会計第13期下期中間報告

竹広財務専門委員長より、おおむね予算通り執行ているとの報告がなされた。 会費は支払い済みが501名。未納129名。

### 2. 会計第14期上期予算案

竹広財務専門委員長より予算提案がなされた。各委員会からの予算要求にもとづき、遊星人編集(原稿起こし+カラー)に15万円、探査データ解析講習会の補助に15万円、フロンティアセミナーの補助に20万円を計上した。秋季講演会の収入・支出はともに64万円を見込んでいる。全体として58万円の赤字で、赤字額は昨年度より8万円減。

- Q. 赤字で予算を組まないといけないのか. 遊星人の予算は減らせないか.
- A. 赤字の予算はやりたくないが、予算を大きく変更しようがない. 遊星人の原稿起こしは使われない年もある. 予算案は原案どおりで了承された.

### 3. 自然災害に伴う会費免除措置等について

竹広財務専門委員長から説明がなされた。アナウンスは9月下旬の予定で、2017年1月中旬締切予定。早め

JSPS Information 179

の申請をお願いしたい.

### 4. 2017年秋季講演会実施案

佐伯秋季講演会実行委員から報告がなされた。日程は2017年9月27日~29日を予定し、オプション講演会を30日に行うことを検討している。会場は大阪大学豊中キャンパスのコンベンションセンターを予定しているが、現在建設中の理学部新棟に変更の可能性もある。LOC委員長は佐々木晶会員。大阪大学宇宙地球科学専攻から共催の承認を得た。参加者200名、口頭100件、ポスター60件を見込んでいる。収入・支出はともに64万円を見込んでいる。

大阪大学理学部との共催特典について議論が行われ、2014年講演会にならい「非発表の学部生・M1に限り、参加費を無料」とすることとなった。また、投稿料をとるかどうかについて、今年度の参加者などを見ながら次回連合大会の運営委員会までに検討することとなった。

#### 5. 入退会について

諸田総務専門委員長から報告がなされた.正会員606, うち学生88(前年それぞれ630,91). 賛助会員が1増えた.

## 6. 総会の議長・書記の承認

諸田総務専門委員長より,第46回総会の議長に鈴木絢子会員,書記に末次竜会員がそれぞれ推薦され,承認された.

## 7. 役員選挙について

諸田総務専門委員長より,第14期(2017年1月-2018年12月)の役員選挙の概要の説明がなされた.第13期の選挙の投票率は18.4%で、20%を切ってしまっている.

選挙管理委員会として総務専門委員メンバーが提案され、了承された。また、選挙日程も提案され、了承された。

### 8. 2016年秋季講演会報告

はしもと2016年秋季講演会組織委員長より報告がなされた. 投稿していて参加しなかった人がいた.

### 9. 遊星人の発行状況報告

和田編集専門委員長より書面による報告がなされた.

- ・遊星人はつつがなく発行されている。ここ最近の3号は薄くなっているので投稿をお待ちしている。
- ・第23巻(2014年)において2号と3号の間に98ページ(p.177-274)のページとびがあった。これについては第23巻のウェブページ上に明記済みで、また2016年9月号の編集後記においてお詫びの報告を掲載する予定。今回のことは、号間にまたがるページチェックを怠ったことが原因。今後は編集幹事のチェックリストに明記のうえ代々引き継ぎを徹底する。
- ・遊星人記事の J-STAGE 上における公開作業は粛々と進めている。作業に伴って講習会を受講する必要があり、 それが10月12日に設定されている。公開は年明けになる可能性がある。

### 10. 日本地球惑星科学連合の報告

倉本会長から報告がなされた.

- ・連合の理事として、倉本、中村、田近が選出された.
- ・来年度連合大会は AGUとの共催. 連合では、なるべく国際化の流れは前進させていきたいとの意見がある. 共同セッションだけでなくこれまで通りの日本語セッションも残る.

### 11. 行事部会からの報告

城野行事部会長から報告がなされた。再来年の秋季講演会は旭川で行い、会場は旭川市科学館の予定。LOCの実働は北大が行う、時期は未定。

### 12. 最優秀発表賞受賞者の決定

・中本学会賞選考委員長より、今年は7人の応募があり、選考の結果、兵頭龍樹会員を受賞者として推薦する

ことが報告された、推薦のとおり、兵頭会員を受賞者とすることが決定した。

・研究者賞は今年は応募3名で2名が受賞した。応募が少ないのは問題であろう。たくさんの方に応募するよう声をかけて欲しい。次の研究者賞応募は例年通り行う。

### 13. 用語部会の設置要望に対する回答について

倉本会長より、以下のような回答が提案された。今回の外国語にもとづく学術用語の標準的読み仮名を制定する部会の設置要望については、外国語由来の名称に対して標準的な日本語を制定することの難しさ、会則上の部会の設置要件に関する会則上の問題、共同作業することが必要になるであろう天文学会は用語制定を当面は行わない方針であること、を理由として、部会の設置を見送る。ただし、学術用語を整理する研究会の設置はあってもいいだろう。

- Q. 用語制定を当面は行わないという天文学会の回答は、正式な回答か、
- A. 天文学会長の回答である.

回答の会長案は了承された.

- ・渡邊委員より、作業部会は会則上時限付きであるのに現状でそのように運用されていないとの指摘がなされた.
- ・春山委員より、議題の提案から審議までのプロセスを明確化すべきではないかとの意見があり、プロセスを確認した、会員からの要望は総務が受け付け、会長が審議を発議する、会員への返事までの期限を作るべきではないかとの意見が出た。

### 14. 運営委員の再選に関する規則について

中村委員より提案がなされた。現在の会則では多選規制がないが、他の学会ではさまざまな多選規制が見られる。惑星科学会も検討すべきでないか。会則改正を含む大掛かりな作業になるので、少なくとも総会2回での議論を減る必要があるだろう。以上に関し、運営委員会の継続性も考える必要があるだろうとの意見が出た。今後議論を進める方向となった。

# ◇日本惑星科学会第46回総会議事録

日 時:2016年9月13日(火) 16:10-17:10

場 所:ノートルダム清心女子大学 カリタスホール2階

〒700-0013 岡山市北区伊福町2丁目16-9

正会員:606名 定足数:61名

参加人数:85名(開会時)(これに加えて非会員の傍聴者4名)>96名(議事3.1採択時)>96名(議事3.2採択時)

委任状:103通(ただし、内0通分は提出者が総会に参加したため無効)

議 長:102通 松本晃治会員:1通

### 1. 開会宣言

諸田総務専門委員長が開会を宣言.

# 2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に鈴木絢子会員,書記に末次竜会員が選出された.

JSPS Information 181

# 3. 議事

### 3.1. 第13 期下期(2016年度)中間報告

·会計報告(竹広財務専門委員長)

例年通りの収入が見込まれているということが報告された.

支出は遊星人、サーバ基礎開発、EPS分担金などが予定されていることなどが報告された

· 各種専門委員会報告

特になし

質疑応答及び討論

特になし

採択

第13期下期活動報告の採択が行われ、賛成:96名、反対:0名、保留:0名により採択された。

### 3.2. 第14期上期(2017年度)予算案

· 説明(竹広財務専門委員長)

基本的には昨年度と同じだが以下の変更点などが説明された

- ・遊星人編集の原稿起こし+カラーページの増加のため10万から15万への変更による支出の増加
- ・賛助会員の一件増加による収入増加

提案予算は58万円の赤字で昨年度予算より8万円の赤字減少

質疑応答及び討論

特になし

採択

第14期上期予算案の採択が行われ、賛成:95名、反対:1名、保留:0名により採択された、

### 4. 報告事項

### 4.1. 自然災害に伴う会費免除措置について(竹広財務専門委員長)

今年度は2017年1月中旬締め切り

- 4.2. 学会賞授賞式: 2015 年度最優秀研究者賞および2016年度最優秀発表賞(中本学会賞選考委員長)
  - ・2016年度最優秀発表賞は兵頭龍樹会員が選ばれた.
  - ・2015年度最優秀研究者賞を黒澤耕介会員、癸生川陽子会員が受賞した。
- 4.3. 2016年秋季講演会の報告(はしもと2016年秋季講演会組織委員長)

問題なく開催されていることが報告された.

### 4.4. 2017年秋季講演会の案内(佐伯2017年秋季講演会組織委員)

2017年9月27日(水) – 9月29日(金)の期間に大阪大学豊中キャンパスコンベンションセンターにて秋季講演会が開催されることが報告された.

### 4.5. 役員選挙の案内(諸田総務専門委員長)

第14期の役員選挙が行われる。そのため9月12日に選挙管理委員が設置されたことや、今後の選挙日程などが説明された。

### 4.6. その他

特になし

### 5. 議長団解任

# 6. 閉会宣言

# ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2016年12月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

株式会社五藤光学研究所 有限会社テラパブ 株式会社ニュートンプレス Exelis VIS株式会社

# ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a)場所, (b)主催者, (c)ウェブページ/連絡先など. 転記ミス、原稿作成後に変更等があるかもしれません、各自でご確認ください.

### 2017/06

# 6/3-6/9 第31回宇宙技術および科学の国際シンポジウム

- (a) ひめぎんホール、愛知県松山市道後町
- (b)日本航空宇宙学会